

施策の推進状況調査（資料4）

- 現行のみどりと環境基本計画の73の取組項目について、担当課によって、現行計画の策定後の「取組み内容」と「今後に向けた課題」を検討しました。
- 下表のとおり、取組項目を環境分野・要素ごとに整理したところ、拡大：30個（黄色網掛けの要素）、継続：42個、廃止：1個でした（詳細は資料4参照）。

各取組項目の今後の方向

分野	No.	環境要素	取組数	今後の方向		
				拡大	継続	廃止
自然環境	1	生物多様性の確保に関する取組みの推進	3	2	1	
	2	拠点や軸となるまとまりある民有樹林の保全	2		2	
	3	まちなかの民有樹林の保全	2	1	1	
	4	生産緑地地区の保全と活用	2		2	
	5	水環境の維持・保全	3	1	2	
	6	周辺自治体との広域連携の推進	2		2	
	7	安全安心な暮らしと調和したみどりの構築	3		3	
	8	みどりの適正な育成管理	3		3	
	9	パートナーシップによる公園緑地等の育成管理	3	1	2	
	10	身近な緑化の推進	3		3	
	11	公園緑地のリニューアル	3		3	
	12	みどりのリサイクルの推進	2	1	1	
	13	文化財等の保全と活用	2		2	
地球環境	20	ごみの発生抑制と減量の推進	2	2		
	21	ごみの適正処理に向けた分別の徹底	1	1		
	22	資源の有効利用	3	3		
	23	生ごみのリサイクルの推進	1	1		
	24	省エネルギーの推進	4	3		1
	25	再生可能エネルギーの推進	2	2		
環境情報	26	雨水地下浸透の推進	1		1	
	27	雨水貯留の推進と水の有効利用	1		1	
	28	自動車排出ガスの削減	1		1	
	29	公共交通・自転車利用の促進	2		2	
	30	地域と連携した環境教育の推進	2	2		
	31	環境を楽しむ体験型活動の充実	2	2		
	32	人材の育成と体制づくり	4	4		
	33	みどりと環境に関する普及啓発	3	1	2	
	34	環境の安全性に関する情報提供	2		2	
合計			73	30	42	1
生活環境	14	公害の発生防止と迅速な対応	2	1	1	
	15	生活環境の保全	1	1		
	16	放射線への対応	1		1	
	17	まち美化の推進	1	1		
	18	路上駐車・放置自転車の防止	1		1	
	19	みどりと都市が調和した街なみの保持	3		3	

短期目標（管理指標）の達成率（その1）

分野	管理指標	平成22 (2010)	平成24 (2012)	直近 実績値 ※1	目標値 ※2	達成率 ※3
自然環境	①みどり率※4（％）	45.7	46.3	49.9	45.7	109%
	②みどりが豊かと感じる市民の割合（％）	96.4	94.6	97.1	96.4	101%
	③みどりの維持管理活動に参加したことの市民の割合（％）	66.1	63.9	56.6	80	71%
	④更新が必要な公園緑地の施設更新達成率（％）	0	0	10.3	40	26%
	⑤地域の歴史文化活動に参加したことの市民の割合（％）	6.6	4.5	4	20	20%
生活環境	①大気汚染にかかる環境基準適合率※5（％）	—	80.0	80.0	100.0	80%
	②水質汚濁にかかる環境基準適合率※6（％）	—	85.8	75	100	75%
	③地区計画の地区計画整備計画面積（ha）	400	410	412.4	420	98%
	④ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合（％）	0	0	74	100	74%
	⑤放置自転車台数（台）	219	267	31	0	86%
地球環境	①家庭系ごみ排出量（市民1人1日あたり）（g）	459.3	456	447.4	420.4	94%
	②再生利用率（％）	34.9	35	35	40	88%
	③スーパーエコショップ認定店舗の数（店）	0	21	14	36	39%
	④市内の二酸化炭素（CO2）排出量※7（千t-CO2）	646	740	693	535.8	71%
	⑤市内のエネルギー使用量※7（TJ）	7790	7679	7,259	7790	100%
	⑥雨水貯留槽設置件数（件）	195	226	281	400	70%
	⑦ミニバス利用者数（千人）	576.7	637.3	503.7	780	65%
環境情報	①子どもを対象とした環境に関する活動の実施回数（事業）	20	17	2	24	8%
	②ユネスコスクール登録校の環境教育への取組みの情報発信（校）	0	22	26	26	100%

※1 直近実績値は、自然環境分野と地球環境分野の④⑤は令和元（2019）年度で、それ以外は令和2（2020）年度

※2 目標値の年度は、令和3（2021）年度

※3 達成率は、目標値に対する実績値の比率（生活環境④は、目標達成に必要な基準値からの削減量に対する、実績の削減量の比率）

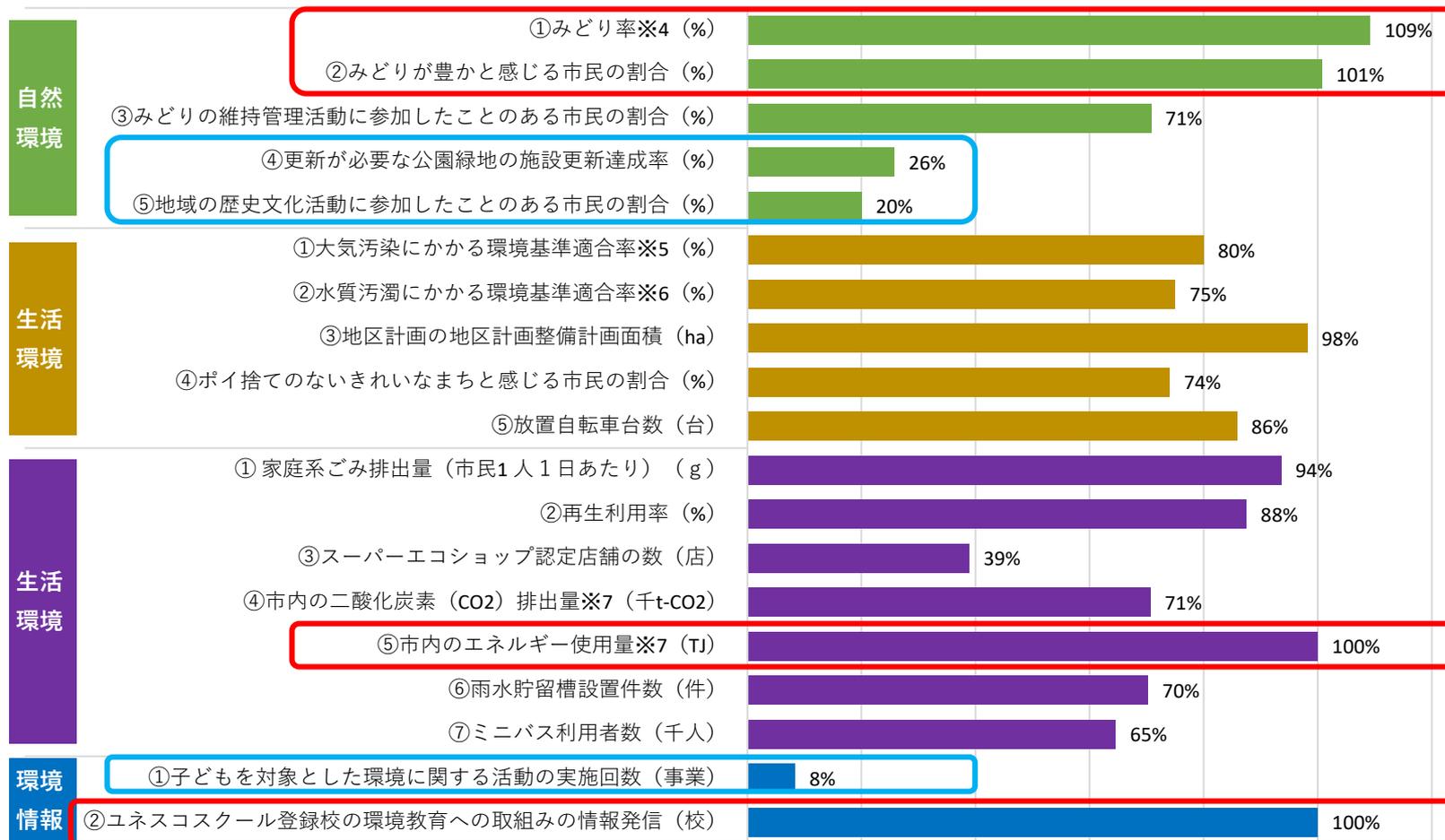
※4 市内に占める樹林地、公園緑地、水面などで覆われた面積の割合

※5 SO₂、NO₂、SPM、CO、Oxの5項目の達成率の平均

※6 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数の5項目の達成率の平均

※7 年次報告「多摩市の環境」での報告年度に対し、実際の年度に変更して表示

短期目標（管理指標）の達成率（その2）

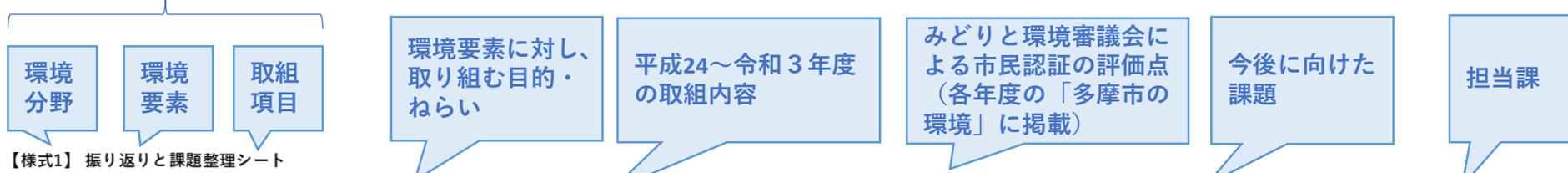


- 目標を達成した指標は、次期計画での指標設定にあたり見直す必要があります。⇒赤枠
- 目標を達成しなかった指標は、課題を踏まえ、次期計画での施策の強化が求められます。⇒水色枠

振り返りと課題整理シート

「多摩市みどりと環境基本計画」の73の取組項目について、各担当課が記入しました。

「多摩市みどりと環境基本計画」での環境分野・要素



【様式1】振り返りと課題整理シート

№	環境分野	環境要素	取組項目	環境要素に対して取り組む目的・ねらい	取組内容 (平成24～令和3年度の内容)	市民認証による評価				「多摩市の環境」掲載年度・頁	今後に向けた課題	今後の方向 (予定・意向)	担当課
						必要性	取組度合い	効果	総合評価				
1-1	自然環境	生物多様性の確保に関する取組みの推進	生物多様性の確保に向けた体制づくり	(1) 生物多様性に関する普及啓発等の取組みを推進する。 (2) 生物多様性を確保するため、「生物多様性ガイドライン」を策定し、ガイドラインに基づいた取組みを進める。	(1) 市公式ホームページで、市民から市内で見つけた動植物に関する情報の提供を呼びかけ、寄せられた情報を掲載した。 (2) 多くの子ども向けイベントを行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止したのがあった。令和3年度に新たに「旧多摩聖蹟記念館 昆虫展示」や「親子でいきもの発見!多摩鑑賞」など新たな事業も実施した。 (3) 平成29年8月に「生物多様性ガイドライン」を策定し、令和3年度もガイドラインに基づいた取組みを進めるため、オオキンケイギクの各課への駆除依頼や、たま広報での周知を図った。また「ハクビシン等防除業務委託」によるアライグマやハクビシンの捕獲・駆除等を実施した。	4.7	4.1	3.6	A	平成29年度、144ページ	(1) 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、感染症対策を万全にし、引き続きイベントなどの様々な場面を活用しながら周知活動を行い、普及啓発を行っていく必要がある。 (2) 今後も生物多様性ガイドラインに沿った具体的な取組みを実施していく必要がある。 (3) 市内の河川や池等でもよく見られるアメリカザリガニやミシシッピアカミミガメも、近年急速に勢力を拡大し生態系を脅かしている実態から特定外来生物に指定された。市民もこれまで飼育しやすいいきものとして接してきた中で、指定された理由や今後の接し方がよくわからない状態が生じている。	拡大	環境政策課
1-2	自然環境	生物多様性の確保に関する取組みの推進	生物生息空間の骨幹となるみどりの拠点と軸の形成	生物多様性の確保に寄与するみどりの拠点と軸の保全を推進	緑地の整備、公園の新設・拡張を行った。生物多様性の確保に寄与するみどりの拠点の保全に関して、市と連携し、「みどりの拠点と軸」	4.7	4.1	3.6	A	平成29年度、144ページ	貴重な緑の確保・保全には、公有地としての取得が求められるが、公有化には用地費取費、維持管理費などの財源が必要である。よって、上位計画である「みどりの基本計画」や関連計画との整合を図ることや市と連携し、関係機関のあり方の検討などが必要である。	継続	公園緑地課

当該施策・事業の今後の方向
 継続：引き続き目標に向けた取り組みを進めていく
 拡大：目標に向けてさらなる推進を図る
 縮小：取り組みの見直しを行い、縮小していく
 廃止：取り組みの見直しを行い、廃止する
 終了：目標達成に伴い、取り組みを終了する

- 「地球環境分科会」では、地球環境（脱炭素）、環境情報の各環境分野のご確認をお願いします。
- 「循環・自然環境分科会」では、自然環境、地球環境（資源循環）、生活環境、環境情報の各環境分野のご確認をお願いします。